

<p>( 4 時 間 )</p> <p>るとともに、青年期の悩みの一つである愛と性について考えさせる。</p>	<p>(2) 異性へのあこがれ (3) 男女の立場</p>	<p>より」(吉田裕外編『現代青年の意識と行動』P 157～158)</p> <p>。「高校生と性」(1),(2)(NHK学校放送)</p>	<p>和55年版 P79～84)の「異性の友人」について意識調査などを利用して、具体的に考えさせる。</p>	<p>健全な異性観を身につける」(男女は、互いに相手の立場や特性を理解して助け合うとともに、清純で明朗な交際を通して互いの向上を図るよう努める)</p>	<p>己実現などについて思索させる。</p> <p>。内容の展開としては、生徒のもつ個々の課題を幾つかに整理し、その解決の手がかりを先哲の基本的な考え方に求めたり自分の考えを表現させたりして生徒自身の自覚を高めるような指導をする。</p>
<p>3 「16才の私」について (1) 作文を書く。</p>	<p>3 「16才の私」について (1) 作文を書く。</p>	<p>。 「人間失格の周辺」(NHK学校放送 56年4月30日)</p>	<p>。 400字語原稿用紙3枚程度にまとめさせる。</p>	<p>互いの向上を図るよう努める)</p>	<p>。 400字語原稿用紙3枚程度にまとめさせる。</p>
<p>4 作文の発表と討議 (1) 作文の発表 (2) 討議</p>	<p>4 作文の発表と討議 (1) 作文の発表 (2) 討議</p>	<p>。 生徒の作文</p>	<p>。 孤独と友情、愛と性などの観点を中心に話し合う。</p>	<p>互いの向上を図るよう努める)</p>	<p>。 孤独と友情、愛と性などの観点を中心に話し合う。</p>